

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 1月 5日

事業所名 アユール放課後等デイサービス沖縄1

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100			小集団に分かれて公園へ行っている。	適切な療養スペースをとっている。
	2	職員の配置数は適切である	85	15		送迎時間の調整、車両及び人員の確保を行っている。	適切な人数の配置を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	28	57	15	車いす対応の大型のトイレと玄関前のスロープがある。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	28	57	15	ミーティングの場に行っている。毎日お昼15分程度で行っている。	職員それぞれ意識しているが、自身も含めてもっと効率的に考える。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	57	43			保護者向けアンケートを定期的に配布している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	57	28	15		公開している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	28	44	28		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100				定期的に研修を行っている。新型コロナウイルスの影響により、Zoom研修も実施している。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	85	15			今後も、適切な支援が提供できるように個別支援計画書の作成に取り組んでいく。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	57	15	28		アセスメントシートを使用していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	85	15		担当を決め、計画的に取り組めるようにしている。	職員で話し合い、活動プログラムを作成していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100			毎日異なったプログラムを行い、かつ、月に1回以上新しい活動を取り入れる。	どのご利用者様も楽しく取組めるように今後も工夫する。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	44	28	28	「夏休み中までにはこれができるようになる」等の一点集中の短期目標を設定するように工夫した。	これまでは、長期休暇等そのまま受け入れていたが、長期休業に入る前に会議を持ち、短期の目標を設定していく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	57	28	15		一人ひとりに合わせた活動が提供できるように活動プログラムを工夫していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	85	15			お昼後にミーティングを毎日行っている(今後も送迎前に全スタッフにてミーティングをし、その日の流れを確認していく)。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	57	43		送迎後に時間が取れない場合は、「共有ノート」を活用するように工夫している。	支援終了後はなかなか時間が取れないため、翌日のミーティングにてシェアしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	85	15		記録やモータ等を基に課題を作成し改善に繋げていくように工夫している	支援記録を毎日記入するようにしている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	85	15		議事録を作成し、スタッフ間で共有することでサービスの見直しの必要性の判断ができるように工夫している。	計画相談員から連絡を頂き、定期的にモニタリングを行うようにしている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	72	28				

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	72	28		各ご利用者様の担当者 も決め、そのスタッフも 参加するように工夫して いる。	今後も各ご利用者様の担当を決め、支援に 役立てるようにする。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	100			学校へお迎えに行っ た際、デイサービスで の支援に活かすた め、本日のようすを確 認するように工夫して いる。	ホームページを見たり、メール等で確認はとれて いるが、より密に連絡を取れる関係性が今後は 必要(日頃から送迎等で学校の先生方とよくコ ミュニケーション、引継ぎを行うように心がける。 その日の状況・調子を伺う)。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている	42	16	42		医療的ケアが必要な対象児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	42	16	42	計画相談員から 情報を引き出す ように工夫してい る。	今後も、親御さんから相談支援事業所から の情報を傾聴していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	44	28	28		計画相談員から情報をもらったり、発信したり している。まだ、障害福祉サービス事業所へ移行 する方がいない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	28	28	44	「沖縄県障害児等療 育支援事業」を申請 し、より専門性の高い 知見から支援ができ るように工夫してい る。	今後も、施設支援指導事業や、障害児療育 支援事業等を申請し、より専門性の高い知 識を身に付け、スタッフの質・支援の向上に 努めていく。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある		28	72		現在は、新型コロナウイルスの影響により交流の 機会は設けていないが、これから作っていき たい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している		43	57		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	100				今後も送迎時に、その日にあった出来事を 保護者へ子どもの状況と共に説明していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている		58	42		これから取り入れていく。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	72	28			今後も、管理者が行っていく。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	72	28		子育ての悩み等を引き 出す為、ノートや申 し送りで確認するよ うに工夫している。	今後も、管理者が随時、相談、支援を行って いく。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	28	44	28	夏祭り等で保護者 同士の連携を支援 できるように工夫し たい。	現在は新型コロナウイルスの影響により行っ ていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	100				今後も、苦情、クレームがあった場合、管理 者が迅速かつ適切に対応していき、その 後、スタッフ間で共有し、本社へも報告して いく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	28	44	28		今後も、毎月の行事予定表を配布していく。
	35	個人情報に十分注意している	57	43		研修を組んでいる	個人情報保護についての研修も行い、十分注意 している。しかし、今後もより注意していかな ければいけない。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	85	15			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	14	72	14		毎年行っていた「夏祭り」も今回は、新型コロナ ウィルスの影響により出来ていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	15	85			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	57	28		新型コロナウイルスの影響により3度見送っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100			研修を組んでいる	今後も、虐待研修を実施し、十分に意識しながら支援に携われるようにしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	43	43	14		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	43	43	14	現在、医師の指示書ではなく、保護者と確認し、それに基づいて対応するように工夫している。	指示書が必要なアレルギー等のご利用者様はいらっしゃらない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	85	15			スタッフ全員で回覧し、その後はファイルにて綴っている。また、本社へも報告しているので、今後も実施する。